職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可知	手月日	校長名			所在地					
日本工学院専門	門学校	昭和51年7	月1日	中村 英詞			5-23-22					
設置者名		設立認可名	手月日	代表者名	(電話)	03-3732-1111	所在地					
学校法人片柳	学園	昭和25年3	月1日	千葉 茂	(住所)	〒 144-8655 (住所) 東京都大田区西蒲田5-23-22						
分野	;	認定課程名		認定学科名		03-6424-1111 - 門士認定年度	高度専門士認定	年度 1	能業実践具	厚門課程認定年度		
文化・教養		術専門課程		アニメ―ション科四年		-	平成27(2015)年			2(2020)年度		
学科の目的	主にマンガ					画などの基礎描画力向上						
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	中途退学者	首 11名(2.89%)										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業時 位数	数又は総単	講義	演習	実習	実験		実技		
4 年	昼間	※単位時間、単位いず かに記入	3,420	単位時間	1,080 単位時間	単位時間単位	5,640 単位時間 単位	単単	位時間	単位時間単位		
生徒総定員		定員(A) 留学	生数(生徒実員の	の内数)(B) 留空	学生割合(B/A)		"					
240 人	409		32	: 人	8 %							
	■卒業者 ■就職希	数 (C) 望者数 (D)	:	81 80	<u> </u>	_						
	■就職者	数 (E)	:	70	À							
	■地元就 ■就職率	職者数(F) (E/D)		22 88	<u>人</u> %	_						
		に占める地元就職者	の割合 (F/E))		_						
	■卒業者に	こ占める就職者の割	合 (E/C)	28	%	_						
	■進学者	数		86 1	<u>%</u> 	_						
就職等の状況	■その他			*		<u> </u>						
	10人											
		a for the day	A DE LOUIS DE LOUIS A SERVICIO	* = 64 = 11 + 11 m t l	- letr-ter)							
	(令和	6 年度至3 職 先、業界等	そ者に関する分	和7年5月1日時点	(の情報)							
	(令和6年度											
			業・出版・印刷	業界 等(タツ	ノコプロ、ジェー	-・シー・スタッフ、横浜ア	'ニメーションラボ、日オ	トアニメーシ	ョン 等)			
		評価機関等から第				無						
第三者による		、例えば以下について										
学校評価		評価団体:		受審任	F月:		評価結果を掲載した ホームページURL					
 当該学科の												
ホームページ URL	http://ww	w.neec.ac.jp/depar	tment/design	n/graphics/								
UKL	(A:単位時間による算定)											
	(A:単位	時間による昇定) 総授業時数						6, 930 単	位時間			
			美等と連携した	実験・実習・実技	の授業時数				位時間			
				演習の授業時数					位時間			
			§授業時数					3,420 単				
			うち企業等	を連携した必修の で	実験・実習・実	技の授業時数		単	位時間			
			うち企業等	を連携した必修の	演習の授業時数			単	位時間			
企業等と連携した		(うち1	と業等と連携し	たインターンシッ	プの授業時数)			630 単	位時間			
実習等の実施状況(A、Bいずれか												
に記入)	(B:単位	数による算定)										
		総授業時数	生年レ連 世・+	宝脸,宝羽,宝艹	の授業時粉			単				
				実験・実習・実技演習の授業時数	V/IX未可致			単 単				
			を受業時数	日 • 汉木町双				 単				
			_		実験・実習・実	技の授業時数		単				
				を連携した必修の を連携した必修の								
		(うち1	と業等と連携し	たインターンシッ	プの授業時数)			単	位			
		① 専修学校の専門の担当する教育等に 修業年限と当該業務 となる者	従事した者でる	あって、当該専門記	果程の _{(由体}	学校設置基準第41条第1項	第1号)	10 人				
		② 学士の学位を有	する者等	第2号)	3 人							
教員の属性(専任		 高等学校教諭等 		第3号)	0 人							
教員について記		③ 尚寺子校教訓寺 ④ 修士の学位又は			0 人							
入)						学校設置基準第41条第1項						
		⑤ その他			(界修	学校設置基準第41条第1項	स्ट िस्	12 1				
		計						13 人				
				分野におけるおおる	むね5年以上の事	ミ務の経験を有し、かつ、	高度の実務	14 人				
		の能力を有する者を	想定)の数					14 人				

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行って いること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

マンガ・アニメ分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またマン ガ・アニメ分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師と の間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から 各3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターン シップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする 教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
近藤 真司	一般社団法人 日本動画協会	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	1
藤黒 素子	株式会社グラフィニカ	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	3
田中 唯	株式会社旭プロダクション	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
前田 大輔	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ クリエイターズカレッジ カレッジ長	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
大泉 佑一	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科四年制 科長	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
臺野 興憲	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科四年制 主任	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
山田 香織	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 主任	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
川合 正剛	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
臼井 麻弥子	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_
馬場 定雄	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、10月)

(開催日時(実績))

2025年3月28日

2025年10月(予定)

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 委員会の中では、デジタル作画とAIに関する議論を行った
- 学科としては文化庁事業と連携をして、AIを用いた教育カリキュラムを構築し、企業導入を含めた特別講義を行っていく。
- |2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

制作系の実習において実践的な指導を受けるためにアニメ開発の実績のある企業を選定している。また、指導を受けるにあたっては各分野 で必要となる知識、技術、制作管理能力を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を選定している。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

|学科担当教員と企業派遣講師との間でアニメーション技術や知識について意見を交換し、今の業界が求めている人材に関しての議論を深めていく。

授業計画、評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画し、実際に授業を行う。授業の成果物をもとに派遣講師が採点し、学科担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

(9/2011 H3 0.X = 123 42 123/K	17日数については「後に」なられ口について出来。						
科 目 名	科 目 概 要	連	携	企	業	等	
AC概論1	米企業「iKHOR Labs」が開発し、米アニメ企業にも実践投入されている MagicPenの実技授業を展開。	iKHOR Labs					
アニメーション実習1	kakacreationのAIシステムを学校に導入し、AIアニメーション制作を特別 授業として展開。	kakacreation					

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: アニメ業界デジタル勉強会 連携企業等: 顧問:夏目公一朗ヒューマンメディア

期間: 2025年7月17日休 対象: アニメーションコース教職

内容 『ヒットするアニメの企画を考える』

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 『いまさら聞けない生成AI ~ChatGPT、Gemini、Claude、何が違う 連携企業等: クリーク・アンド・リバー社

期間: 2025年6月12日(木) 対象: 教職員

実際に生成AIを使いながら、0からビジネス文章を完成させる過程をお見せすることで、「そもそもどうやって使えばいい

の?」という疑問を、実践を通じて解消。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: AJPF産学交流会 連携企業等: アニメーション制作会社など

期間: 2025年9月以降予定 対象: アニメーション業界

内容デジタル制作人材カリキュラムのに関して

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 授業改善セミナー 連携企業等:0

期間: 2025年8月26(火) 対象: 教職員

内容 若手教員の授業力向上など

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに 当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)	専修	学校に	おける	学校評	価ガイド	<u> </u>	」の項目	との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標

(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	00000

※(10)及び(11)については任意記載

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂 いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。

以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。

- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつ くり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサ ポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社	令和7年4月1日	IT企業等委員/卒
	最高顧問	~令和8年3月31日(1年)	業生委員
正木 英治	株式会社マックス	令和7年4月1日	地域関連/
	専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ企 業等委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進グループセクションチーフ	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ/デ ザイン企業等委 員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会	令和7年4月1日	テクノロジー
	事務局長	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	令和7年4月1日	ミュージック
	常務理事	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

★ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(**DBF**÷

https://www.neec.ac.jp/public/

令和7年9月30日 公表時期:

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提 供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校 の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項 についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事 による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書 類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設·設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書

(9)学校評価	学校評価	
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画	
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿	
※(10)及び(11)については任音記載		

 ※(10)及び(11)については任意記載。

 (3)情報提供方法

 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(URL: https://www.neec.ac.ip/public/公表時期: 令和7年9月30日

))

授業科目等の概要

				課程 マンガ・ア	アニメーション科四年制)											
		分類							挖	受業プ	法	場	所	教員		
		選択必修	由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外			企業等との連携
1	0				社会性やコミュニケーションの基礎力を養います。	1•通	60	4	0			0		0		
2	0				想像力や表現力を養いながら、プレゼンテー ション能力を高めます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
3	0			ビジネス教養 B	クリエイターに必要な著作権を学び、ビジネス 著作権検定 Basic の取得を目指します。	1•	30	2	0			0		0		
4	0			メディア研究 A	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後の作品制作の発想力を養います。	1 • 前	60	2	0			0		0	0	
5	0			メディア研究B	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後の作品制作の発想力を養います。	1•	60	2	0			0		0	0	
6	0			業界概論	アニメーション・マンガ・ゲーム業界で必要な 知識や用語、作品の発想力を学びます。	1•	180	12	0			0		0		
7	0			デザイン演習 A	キャラクターデザインにおける基本的な発想力 を学び、デザインカを身につけます。	1•	60	2			0	0		0		
8	0				基礎的な描画技法などを学び、描画力を高めま す。	1•	120	4			0	0		0		
9	0			デッサン基礎B	人物の基礎的な描画技法などを学び、描画力を 高めます。	1 · 後	120	4			0	0		0		
10	0			制作基礎A	アニメーション・キャラクターデザイン・マン ガ制作で必要な基礎技術力を高めます	1 • 前	90	3			0	0		0	0	0
11	0			制作基礎B	アニメーション・キャラクターデザイン・マン ガ制作で必要な基礎技術力を高めます	1•	90	3			0	0		0	0	0
12			0	校外研修A	海外、国内研修旅行などに参加し、自己啓発力 を養います。	1•通	60	2			0		0	0		

						T		I							\neg
13			0	スポーツ実習 A	スキー研修などに参加し、運動能力を養いま す。	1•通	60	2		0		0	0		
14	0			キャリアデザ インB	社会とネットワークにおけるコミュニケーションについて考察し、その活用力を高めます。	2· 通	60	4	0		0		0		
15	0			メディア研究 C	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後の作品制作の発想力を養います。	2· 前	60	2	0		0		0	0	
16	0			メディア研究D	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後の作品制作の発想力を養います。	2· 後	60	2	0		0		0	0	
17		0		AC概論A	アニメーション制作のための発想法や人物の描 画技法などを学び、表現力を高めます。	2· 前	30	2	0		0		0		
18		0		AC概論B	アニメーション制作テクニックの習得度を高め ながら専門知識の理解を進めます。	2· 後	30	2		0	0		0		
19		0		CC概論A	コンセプトやターゲットユーザーなどを理解 し、ゲーム制作における基本的な考え方を学び ます。	2· 前	30	2		0	0		0		
20		0		CC概論B	ゲーム制作の構想や企画、デザイン、制作手法 などを学びます。	2· 後	30	2		0	0		0		
21		0		MC概論A	マンガのジャンルや読者層を考察し、自己の作 家性構築に役立てます。	2· 前	30	2		0	0		0		
22		0		MC概論B	マンガ制作における計画性や制作プロセスなどの基本的な考え方を学びます。	2· 後	30	2		0	0		0		
23		0		デザイン演習B	色彩構成や表現技法などを学び、色彩能力検定 取得を目指します。	2· 前	30	1		0	0		0		
24		0		デザイン演習C	色彩構成や表現技法などを学び、色彩能力検定 取得を目指します。	2· 後	30	1		0	0		0		
25	0			デッサン実習 A	デッサンを通じて観察力や描画力を高めます。	2· 前	60	2		0	0		0		
26	0			デッサン実習B	デッサンを通じて観察力や描画力を高めます。	2· 後	60	2		0	0		0		
27		0		アニメーショ ン実習A	アニメーション制作の基本テクニックの習得と 制作プロセスを理解します。	2· 前	240	8		0	0		0	0	

28	0		アニメーショ ン実習B	アニメーション制作の基本テクニックの習得と 制作プロセスを理解します。	2· 後	240	8		0	0		0	0	
29	0			キャラクターデザインやイラスト制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。	2· 前	240	8		0	0		0	0	
30	0			キャラクターデザインやイラスト制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。	2· 後	240	8		0	0		0	0	
31	0		マンガ実習A	マンガ制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。	2· 前	240	8		0	0		0	0	
32	0		マンガ実習B	マンガ制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。	2· 後	240	8		0	0		0	0	
33		0	校外研修B	海外、国内研修旅行などに参加し、自己啓発力 を養います。	2· 通	60	2		0		0	0		
34		0	スポーツ実習B	スキー研修などに参加し、運動能力を養いま す。	2 · 通	60	2		0		0	0		
35	0		キャリアデザ インC	企業への就労やインターンシップ、ネットコ ミュニケー ション等で役立つ知識やマナーを学びます。	3 · 通	60	4	0		0		0		
36	0		ICT活用A	PC やインターネットの正しい活用法を学び、 情報社会で の適応能力を養います。	3 · 前	30	2	0		0		0		
37	0		ICT活用B	Office 系ソフトを活用できるスキルを学びます。	3· 後	30	2	0		0		0		
38	0		メディア研究E	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後 の作品制作の発想力を養います。	3 · 前	60	2	0		0		0		
39	0		メディア研究F	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後 の作品制作の発想力を養います。	3· 後	60	2	0		0		0		
40		0	校外研修C	海外、国内研修旅行などに参加し、自己啓発力 を養いま す。	3· 通	60	2		0		0	0		
41		0	スポーツ研修C	スキー研修などに参加し、運動能力を養いま す。	3· 通	60	2		0		0	0		
42	0		AC概論C	アニメーション制作のための表現技法などを学 び、表現 力を高めます。	3· 前	30	2	0		0		0		

43	0	AC概論D	アニメーション制作のための表現技法などを学 び、表現	3· 後	30	2	0		0	0	
44	0	CC概論C	ゲーム制作のための表現技法などを学び、表現 力を高め ます。	3 · 前	30	2	0		0	0	
45	0	CC概論D	ゲーム制作のための表現技法などを学び、表現 力を高め ます。	3· 後	30	2	0		0	0	
46	0	MC概論C	マンガ制作のための表現技法などを学び、表現力を高めます。	3 · 前	30	2	0		0	0	
47	0	MC概論D	マンガ制作のための表現技法などを学び、表現力を高めます。	3· 後	30	2	0		0	0	
48	0	デッサン実習C	就職活動で活用できる実践的なデッサンカを習 得しま す。	3· 前	60	2		0	0	0	
49	0	デッサン実習D	就職活動で活用できる実践的なデッサンカを習 得しま す。	3· 後	60	2		0	0	0	
50	0	ドローイングA	マンガ制作における高度な専門ツールの使い方 や制作技 法を学びます。	3· 前	60	2		0	0	0	
51	0	ドローイングB	マンガ制作における高度な専門ツールの使い方 や制作技 法を学びます。	3· 後	60	2		0	0	0	
52	0	アニメーショ ン実習C	専攻別でアニメーション制作工程ごとの就職に 必要な専 門ツールや技法を習得します。	3 · 前	240	8		0	0	0	
53	0	アニメーショ ン実習D	専攻別でアニメーション制作工程ごとの就職に 必要な専 門ツールや技法を習得します。	3· 後	240	8		0	0	0	
54	0	キャラクター デザイン実習C	キャラクターデザインやイラスト制作の応用テクニックの習得とゲーム制作に必要なデザインスキルを習得します。	3 · 前	240	8		0	0	0	
55	0	キャラクター デザイン実習D	キャラクターデザインやイラスト制作の応用テクニックの習得とゲーム制作に必要なデザインスキルを習得します。	3· 後	240	8		0	0	0	
56	0	マンガ実習C	マンガ制作の応用テクニックやアシスタントス キルを習 得します。また、出張編集部に向けて作品制作 します。	3· 前	240	8		0	0	0	
57	0	マンガ実習D	マンガ制作の応用テクニックやアシスタントス キルを習 得します。また、出張編集部に向けて作品制作 します。	3· 後	240	8		0	0	0	

				_								
58		0	制作プロ デュースA	企画運営やライティングなどを学び、学内外におけるイベントなどを通して、その準備と実施運営について学びます。	3 •	300	8		0	0	0	
59		0	制作プロ デュースB	企画運営やライティングなどを学び、学内外におけるイベントなどを通して、その準備と実施運営について学びます。	3· 後	300	8		0	0	0	
60	0		ビジネス教養 1	就職活動やインターンシップで失敗しない所作 や、営 業、商談マナーについて学びます。	4· 通	45	3	0		0	0	0
61	0		ビジネス教養 2	業界の国際化に備えた知識やコミュニケーションカ を身につけます。	4· 通	45	3	0		0	0	0
62		0	イベントプロ デュース 1	学内外イベントの企画や準備、実施運営を学び ます。	4· 前	45	3	0		0	0	0
63		0	イベントプロ デュース 2	学内外イベントの企画や準備、実施運営を学び ます。	4· 後	45	3	0		0	0	0
64	0		制作プロ デュース 1	研究作品の構想や企画、デザイン、制作手法な どを設 計します。	4· 通	45	3	0		0	0	0
65	0		制作プロ デュース 2	研究作品の制作計画や工程の調整、進行管理な どを実 践します。	4· 通	45	3	0		0	0	0
66		0	デッサン5	デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や 描画力 を高めます。	4· 前	45	1		0	0	0	
67		0	デッサン6	デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や 描画力 を高めます。	4· 後	45	1		0	0	0	
68	0		高度専門スキル1	関連業界における高度な技法を学び、研究作品 を制作 します。	4· 前	45	1		0	0	0	0
69	0		高度専門スキル2	関連業界のイベント企画や実施、情報発信方法 を学び ます。	4· 前	45	1		0	0	0	0
70	0		高度専門スキル3	関連業界における高度な技法を学び、研究作品 を制作 します。	4· 後	45	1		0	0	0	0
71	0		高度専門スキル4	関連業界のイベント企画や実施、情報発信方法 を学び ます。	4· 後	45	1		0	0	0	0
72	0		プロジェクト 制作 1	学内外とのコラボレーション制作や研究作品を 制作 します。	4· 前	90	3		0	0	0	

73	0			プロジェクト 制作 2	学内外とのコラボレーション制作や研究作品を 制作 します。	4· 前	90	3		0	0		0	
74	0			プロジェクト 制作3	学内外とのコラボレーション制作や研究作品を 制作 します。	4· 後	90	3		0	0		0	
75	0			プロジェクト 制作 4	学内外とのコラボレーション制作や研究作品を 制作 します。	4· 後	90	3		0	0		0	
76		0		制作研究 5	学習成果をまとめます。また、受講内容から更 に高度 な技法や理解度を補うための研究も行います。	4· 前	45	1		0	0		0	
77		0		制作研究 6	学習成果をまとめます。また、受講内容から更 に高度 な技法や理解度を補うための研究も行います。	4· 後	45	1		0	0		0	
合計			77	, ;	科目		`	6930	単	位 (単位	西間)		

	卒業要件及び履修方法	授業期間等				
卒業要件:	卒業時に必修科目1080時間および選択科目2340時間以上取得し、合計3420時間 以上取得すること。	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法:	1年次は必修900時間履修すること 2年次は必修120時間、選択720時間以上履修すること 3年次は選択840時間以上履修すること 4年次は必修60時間、選択780時間以上履修すること	1 学期の授業期間	15 週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。